

問1 中国・四国地方の気候区分において、日本海側の地域（松江など）で12月から2月の冬季に降水量（雪を含む）が多くなり、約400mmに達する主な理由は何ですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。
2. 南東からの湿った季節風が太平洋から吹き込み、四国山地にぶつかるため。
3. 梅雨前線や台風の影響を強く受けやすく、夏から秋にかけて湿った空気が流れ込むため。
4. 周囲を高い山に囲まれた盆地状の地形で、上昇気流が発生しやすいため。

問2 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
4. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。

問3 交通網の整備によって、ある地点から別の地点へ移動するために必要な時間が短くなることを「時間距離の短縮」といいます。1988年に瀬戸大橋が開通した際、本州の岡山駅と四国の高松駅の間で見られた変化の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。
2. 橋の建設によって海を埋め立てたため、両駅間の物理的な移動距離そのものが短縮された。
3. 交通手段が多様化したことで、移動時間に関わらず運賃が大幅に引き下げられた。
4. 移動にかかる時間は変わらなかったが、橋の完成による心理的な安心感から利用者が増加した。

問4 日本の果樹農業に関する統計において、収穫量が約14.78万tで全国1位の和歌山県に対し、約12.78万tで全国2位となっている四国地方の県と、その県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 静岡県 - 静岡市
2. 愛媛県 - 松山市
3. 長崎県 - 長崎市
4. 佐賀県 - 佐賀市

問5 ある地域の気候統計において、年平均気温が16.3℃、年間の降水量が1082.3mmと、他の地域（2755.3mmなど）と比較して極端に少ない数値が示されています。このような気候の特徴を持つ「瀬戸内地方」において、降水量が少なくなる地理的な理由として最も適切なものを選びなさい。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれており、季節風が運ぶ湿った空気が山地で遮られるため。
2. 暖流である黒潮の影響を強く受けることで、空気中の水蒸気が蒸発しやすく雲が形成されにくいから。
3. 標高の高い盆地状の地形であり、内陸部特有の乾燥した空気が年間を通じて停滞し続けるため。
4. 冬に北西から吹く季節風が日本海で水分を蓄え、山地を越える際に雪としてすべて降りきってしまうため。

問6 農業就業者1人あたりの耕地面積が約1.6haと、全国平均や他地域に比べて非常に小さい香川県において、農業産出額の構成比で特に高い割合を占めている品目の特徴として、最も適当なものを次の中から選びなさい。（2018年 長崎県公立入試 類似）

1. 広大な土地での大規模経営に適した小麦や豆類
2. 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜
3. 広大な放牧地や飼料畑を必要とする乳用牛や肉用牛などの畜産
4. 冷涼な気候を活かして大規模な機械で一斉に収穫する工芸作物

問7 岡山県から山口県にかけての瀬戸内海沿岸部における工業の特色について、正しい説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている
2. 高速道路のインターチェンジ付近に、小型で軽量の集積回路（IC）を製造する「シリコンアイランド」が形成されている
3. 自動車の組み立て工場が内陸部の広大な土地に集中し、日本最大の工業生産額を誇る工業地帯となっている
4. 情報通信技術（ICT）を活用したソフトウェア開発や、バイオテクノロジーなどの先端産業が生産の中心となっている

問8 2010年における四国地方の農業産出額の統計（総額3,942億円）において、産出額が1,324億円に達し、全体の3割以上を占めていた品目はどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 野菜
2. 果実
3. 米
4. 畜産

問9 四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。
2. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。
3. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービス業の割合が他の産業より極端に高い。
4. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。

問10 2021年の統計において、みかんの収穫量が全国第2位（約12.78万t）であり、四国地方に位置する愛媛県の県庁所在地として正しい名称を選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 高松市
2. 高知市
3. 松山市
4. 徳島市

問11 岡山県を含む瀬戸内海沿岸の地域では、年間を通じて降水量が少なく晴天の日が多いという特徴があります。このような気候が形成される地理的な要因として最も適切な説明はどれですか。（2025年 愛知県公立入試 類似）

1. 北側に中国山地、南側に四国山地があり、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がこれらの山地で遮られるため。
2. 季節風の影響を直接受ける位置にあるが、対馬海流の影響で上昇気流が発生しにくく、雲が発達しないため。
3. 平坦な地形が続いており、湿った空気が上昇して雨雲に発達するきっかけとなる高い山地が周辺に全く存在しないため。
4. 日本海からの北西季節風が中国山地を越える際、フェーン現象によって大量の湿った空気がそのまま流れ込んでくるため。

問12 日本の国内貨物輸送において、1980年代から現代にかけての輸送手段別の割合の変化をたどると、鉄道や内航海運が減少する一方で、現在は全体の約半分を占めるまでに成長し、最も高い割合となっている輸送手段は何ですか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 航空輸送
2. 鉄道輸送
3. 内航海運
4. 自動車（トラック）輸送

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この冷たく乾いた風が日本海を渡る際に、対馬海流（暖流）の影響で大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が中国山地にぶつかって上昇することで、日本海側に雪や雨をもたらします。対して、太平洋側ではこの風が山を越えて乾燥した風として吹き降ろすため、冬の晴天が多くなります。
問2	答え 1 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問3	答え 1 船舶から鉄道や自動車への転換により移動時間が大幅に短縮され、定期券の利用者が急増した。	瀬戸大橋の開通は、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の移動を劇的に変化させました。1987年から1991年にかけてのJR岡山駅・高松駅間の定期券利用者数の推移を見ると、橋が開通した1988年を境に利用者が急増しています。これは「時間距離」が短縮されたことで、県境を越えた通勤や通学が現実的なものとなり、生活圏が一体化したことを示しています。物理的な「距離」は変わりませんが、交通網の整備によって「移動時間」という尺度の距離が縮まったことが重要なポイントです。
問4	答え 2 愛媛県 - 松山市	2021年のみかん収穫量の統計に基づくと、全国1位は近畿地方の和歌山県（約14.78万t）であり、2位が四国地方の愛媛県（約12.78万t）となっています。愛媛県は急傾斜地を利用した段々畑での栽培が盛んで、その県庁所在地は松山市です。静岡県や長崎県もみかんの主要な産地ですが、収穫量の順位や四国地方という地理的条件から愛媛県が正解となります。
問5	答え 1 北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれており、季節風が運ぶ湿った空気が山地で遮られるため。	瀬戸内地方は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。夏は太平洋からの湿った南東の季節風が四国山地に遮られ、冬は日本海からの湿った北西の季節風が中国山地に遮られます。その結果、山を越えて吹き込む空気は乾燥し、年間を通じて降水量が1100mm未満という少雨の気候になります。これは日本海側や太平洋側の気候と比較して非常に顕著な特徴です。
問6	答え 2 単位面積あたりの収益性が高く、集約的な栽培が行われるレタスなどの野菜	香川県は平野部に限られており、農業就業者1人あたりの耕地面積が全国でも最小規模です。北海道のような広大な土地を必要とする大規模な「土地利用型農業」を行うのが難しいため、限られた面積から高い収益を得る必要があります。その結果、レタスをはじめとする野菜の生産に力を入れる「集約的な農業」が発達し、農業産出額に占める野菜の割合が非常に高いという特徴を持っています。
問7	答え 1 石油精製所や化学工場が港湾周辺に集まり、互いにパイプラインなどで結ばれた石油化学コンビナートが形成されている	瀬戸内海沿岸の臨海部では、輸入した原油を精製する工場と、その製品を原料として加工する工場などが集まる「石油化学コンビナート」が多く見られます。これは瀬戸内工業地域の大きな特徴です。シリコンアイランドは九州、日本最大の工業生産額は中京工業地帯の説明であり、瀬戸内工業地域は重化学工業が盛んな地域として知られています。
問8	答え 1 野菜	四国地方の農業は、高知県を中心とした野菜の生産が非常に盛んである点が特徴です。2010年のデータでは、野菜の産出額が総額の33.5%を占めており、果実（みかんなど）や畜産、米と比較しても最大の割合となっています。これは、温暖な気候を活かした高付加価値な農業が展開されていることを示しています。
問9	答え 1 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製菓業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問10	答え 3 松山市	愛媛県はみかんの栽培が非常に盛んな地域として知られており、2021年の統計では全国1位の和歌山県に次ぐ第2位の収穫量を記録しています。四国地方の各県の県庁所在地は、香川県が高松市、高知県が高知市、徳島県が徳島市、そして愛媛県が松山市です。愛媛県の松山市は、瀬戸内海に面した気候を活かした果樹栽培が特徴です。
問11	答え 1 1 北側に中国山地、南側に四国山地があり、それぞれの季節風が運ぶ湿った空気がこれらの山地で遮られるため。	岡山県が位置する瀬戸内地方は、北を中国山地、南を四国山地という険しい山々に挟まれています。冬の冷たく湿った北西の季節風は中国山地で、夏の湿った南東の季節風は四国山地でそれぞれ遮られ、山を越える前に雨や雪を降らせず。そのため、山地の間にある瀬戸内沿岸には乾燥した空気が流れ込むことになり、年間を通じて降水量が少なく晴天の多い「瀬戸内の気候」が形成されます。
問12	答え 4 2 自動車（トラック）輸送	本州四国連絡橋の完成などに象徴される高速道路網の整備により、日本の物流は大きく変化しました。自動車（トラック）は、発地から着地まで荷物を積み替えずに運ぶ「ドア・ツー・ドア」の輸送が可能であり、小口の荷物を頻繁に運ぶ現代の物流ニーズに適しているため、国内貨物輸送の主役となっています。